

第四十八回
テアトル・ノウ 東京公演

能
清経

替之型

味方玄

能
海士
味方玄

懷中之舞

狂言
舟渡智
野村 万作

仕舞
阿 松 難
漕 風 波
片山 觀世 觀世
九郎 淳夫 喜正
右衛門

令和6年7月20日(土)午後1時開演

会場 国立能楽堂

令和六年七月二十日(土)午後一時始(正午開場)

於 国立能楽堂

第四十八回 テアトル・ノウ 東京公演

能

妻 小早川康充

清経 味方 玄

清経

淡津三郎 宝生 欣哉

大鼓 亀井 広忠
小鼓 成田 達志

番 杉 市和

替之型

後見 浅見 慈一
清水 寛二

地謡

武田 崇史 川口 晃平
小早川 泰輝 分林 道治
武田 祥照 片山九郎右衛門
安藤 貴康 谷本 健吾

休憩二十分

狂言

舟渡智

船頭・男 野村 万作

置 中村 修一
姑 石田 幸雄

後見 飯田 豪

仕舞

難波 観世 喜正

谷本 健吾

松風 観世 淳夫

角当 直隆

阿漕 片山九郎右衛門

分林 道治
浅見 慈一

能

藤原房前 安藤継之助

母 味方 玄

海士

房前の従者 宝生 欣哉

大鼓 河村 大
小鼓 大倉源次郎

太鼓 小寺真佐人
番 杉 信太郎

懐中之舞

従者 宝生 尚哉

間

浦の男 野村 裕基

小早川康充 川口 晃平

後見 鶴澤 光

地謡

武田 崇史 観世 淳夫
小早川 泰輝 観世 喜正
武田 祥照 角当 直隆

終了予定 午後五時前

この度は能「清経」「海士」を上演いたします。

『清経』は二十代で初演いたし、今までも何度も勤めさせていただきました。世阿弥は「風姿花伝・物学条々」の「修羅」のところ、「源平などの名のある人の事を、花鳥風月に作り寄せ」と書き、また「鬼のはたらき、また舞の手になる所を用心すべし」としています。物語の中心に据えられるクセは栄華を極めた平家の没落を長編の叙事詩で地謡が語る部分。平家の公達清経が語る平家の物語で、喪失感から絶望へ至る心情が映し出されます。

世阿弥の戒めのごとく、表面的な強い型、舞踊の所作にならぬよう、しかし、絵巻物から情景が立ち上がるようになればと思います。

『海士』は様々な小書き演出があり、いずれも後場の変化が大きいのですが、やはり眼目の、海中に飛び入り、玉を取り返し、瀕死の状態で引き揚げられる場面の「玉之段」をリアリティーをもって演じたいと思います。水の冷たさ、重さ、深さ、暗さ。水底から水面を通して見る我が子と藤原公の面影。血に染まる水の滲みや激み。その凄まじいまでの母性が一曲を通して見えればと思います。

また野村万作師の至芸にて狂言『舟渡智』をお楽しみください。

テアトル・ノウ主宰 味方玄



©Asahi Photos

味方 玄 観世流能役者

一九六六年京都にて能楽師・味方健の長男として生まれる。幼少より父に手ほどきを受け、一九八六年、片山幽雪(人間国宝)に内弟子入門。幽雪(九世九郎右衛門)、十世九郎右衛門に師事。一九九二年独立。二〇〇一年「京都市芸術新人賞」受賞。二〇〇二年 KBS京都テレビにて能楽入門番組「能三昧(全二十八回)」を監修、出演する。二〇〇三年新作能「待月」の脚本を手がけシテを演じる。二〇〇四年「京都府文化賞奨励賞」受賞。二〇二二年「第四十四回観世寿夫記念法政大学能楽賞」受賞。二〇二三年「第四十二回京都府文化賞功労賞」受賞。二〇〇六年淡交社より「能へのいざない」を出版。二〇二二年、重要無形文化財(総合)認定。

国立能楽堂 TEL 03-3423-1331 (代表)
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1

- JR 中央・総武線 千駄ヶ谷駅 下車 約5分
- 地下鉄大江戸線 国立競技場駅 下車 約5分
- 地下鉄副都心線 北参道駅 下車 約7分



※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

入場料 (全席指定席)
正面席 10,000円
中正面・脇正面席 8,000円

チケット発売日 5月8日(水)
「能のみかたくらぶ」先行予約あり

お申込
テアトル・ノウ事務局 TEL&FAX 075-213-1774
ホームページからお申込みいただけます
<https://theatrenoh.com/>

